

令和6年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

2月29日(木)

(1)	千住	啓介	議員	(自由民主党明石)	………P2
(2)	国出	拓志	〃	(公明党)	………P3
(3)	中川	夏望	〃	(市民の会)	………P4
(4)	竹内	きよ子	〃	(明石かがやきネット)	………P5
(5)	正木	克幸	〃	(明石維新の会)	………P6
(6)	宮坂	祐太	〃	(明石かがやきネット)	………P7
(7)	上田	雅彦	〃	(明石維新の会)	………P9
(8)	石井	宏法	〃	(自由民主党明石)	………P10
(9)	長尾	博子	〃	(公明党)	………P11

3月1日(金)

(10)	山中	裕司	議員	(市民の会)	………P12
(11)	辻本	達也	〃	(日本共産党)	………P13
(12)	中西	礼皇	〃	(対話の会あかし)	………P14
(13)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)	………P15
(14)	寺井	吉広	〃	(明石かがやきネット)	………P16
(15)	中村	茂雄	〃	(明石維新の会)	………P17
(16)	井藤	圭順	〃	(自由民主党明石)	………P18
(17)	飯田	伸子	〃	(公明党)	………P20

3月4日(月)

(18)	黒田	智子	議員	(市民の会)	………P21
(19)	林	丸美	〃	(明石かがやきネット)	………P23
(20)	出雲	有希子	〃	(自由民主党明石)	………P24
(21)	梅田	宏希	〃	(公明党)	………P26
(22)	金尾	良信	〃	(市民の会)	………P27
(23)	三好	宏	〃	(自由民主党明石)	………P29
(24)	山下	祥	〃	(市民の会)	………P30
(25)	榎本	和夫	〃	(自由民主党明石)	………P31

※ 順位については予定です。

令和6年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p>1 明石市の未来について</p> <p>(1) 共創元年、対話と共創の先にどのような未来が創造されるのか。</p> <p>(2) 前市長が積み残した諸問題（ごみ処理施設、公設卸売市場老朽化、市民病院老朽化、明石港東外港再整備、水道経営、インフラ設備の老朽化等々）の解決策について</p> <p>(3) 先送りにしてきた公共施設の更新が差し迫っているが、今後の財政見通しについて</p>		

発言順位	2	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 新年度予算について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 一般会計の市債残高について(2) 一般会計の歳出について(3) 人件費について <p>2 財源確保に向けた今後の取組について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 財源確保のための専門家集団によるP T (プロジェクトチーム) を結成しないか。(2) 今後の新たな財源確保のための対策について <p>3 防災・減災対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 能登半島地震の被災者に対する現在までの本市の対応と今後の方針について(2) 災害時の海路、空路の利活用について(3) L I N E と A I を活用した防災アプリの導入について		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p>1 施政方針について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 対話と共創のまちづくりについて(2) こどもを核としたまちづくりについて(3) 豊かな自然を生かした循環型のまちづくりについて <p>2 令和6年度当初予算について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 大規模設備投資について(2) 財政白書について <p>3 待機児童対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 待機児童ゼロに対する取組について(2) 公立幼稚園の預かり保育の拡充について		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	竹内 千よ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 令和6年度予算案について</p> <p>(1) 財政状況と今後の見通しについて</p> <p>(2) 財源確保について</p> <p>2 本市の教育が抱える課題とその対応について</p> <p>(1) 新年度からの小中学校の教員配置について</p> <p>(2) 小中学校の教育施設整備について</p> <p>(3) 中学校の部活動地域移行について</p> <p>(4) 市立幼稚園の人員配置、配置基準、施設整備について</p>		

(代表質問)

発言順位	5	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 経済循環型市政運営の構築について</p> <p>(1) 厳しい財政状況の中で、どのように税収を確保するのか。また、税収以外の財源拠出方法を検討、実行していくビジョンはあるのか。</p>		

発言順位	6	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 水道事業・下水道事業の持続可能な経営基盤の確立について</p> <p>(1) 水道料金の改定について (要旨) 本件については、本年度の建設企業常任委員会で継続的に質問し、令和8年度までの現行の中期経営計画の期間内は内部留保資金を切り崩しながら経営を継続し、令和9年度からの次期計画の策定に向けた検討の中で料金改定も含めて議論するとの考えが一貫して示されています。料金改定の裏づけとなる投資・財政計画の策定等に一定の期間を要することや、市民参画手続を含む丁寧な議論、そして市民や事業者の理解を得ながら進めることが重要だとは私も認識しています。そこで、次年度予定しているアセットマネジメント計画策定に向けた検討状況を市民や事業者積極的に広報する等、今後の進め方について考えをお伺いします。</p> <p>(2) 水道事業の経営環境改善に資する今後の野々池貯水池の利活用策について (要旨) 水源転換後の野々池貯水池の利活用については、水道局のみならず市全体の検討課題であります。この間、様々に議論されてきた水道事業の経営環境の厳しさに鑑みれば、例えば都市計画変更手続の時期により、利活用の結果として一般会計にまとまった財源をもたらすような方策ではなく、水道事業会計にまとまった財源をもたらす方策が望ましいと考えます。市長の考えをお伺いします。</p> <p>(3) 上下水道組織統合について (要旨) 本件については、過去に2度、本会議質問で取り上げましたが、ついに令和7年度から段階的に取組を進める方針が示されました。令和6年度より、水道事業の大部分の所管省庁が厚生労働省から国土交通省へ移管されることも要因としてあるものと推察しますが、過去の答弁では事業費等の大きな削減効果は得られない旨の言及もありました。組織統合により期待される効果について、上下水道事業の持続可能な経営基盤を確立する観点から考えをお伺いします。</p>		

発言順位	6	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>(4) 下水道事業に係る広域連携の推進について (要旨) 私はかつて下水道事業に係る経営戦略の策定に関する議論の中で、広域連携の視点が重要である旨を申し上げました。平成30年度策定の経営戦略においては、広域化・共同化について、兵庫県生活排水効率化推進会議において検討を行っていく旨が記載されています。その後、兵庫県は昨年3月、同推進会議の検討内容等を踏まえ、生活排水広域化・共同化計画を策定し、ハード連携の一環として、県下の公共下水道事業の生活排水処理施設137施設のうち、令和33年度までに10施設を統合により削減する数値目標を掲げました。東播磨ブロックの検討部会においても、中長期的に施設の統廃合について検討する方針が示されています。施設規模の最適化にも関わる議論だと思いますが、中長期的な施設の統廃合も視野に入れたハード連携の推進について考えをお伺いします。あわせて、台帳システムの共同発注等、ソフト連携の推進について考えをお伺いします。</p>		

発言順位	7	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 南海トラフ地震発災の際の市民の命を守る防災・減災対策について</p> <p>(1) 南海トラフ地震への本市の防災・減災対策及び体制について (要旨) 市民への災害対策の啓発活動、市民への情報伝達体制、周辺自治体及び自衛隊等とのネットワーク化等について、見解を問う。</p> <p>(2) 個別避難計画の現状について (要旨) 高齢者、障害のある方(要支援者)を安全に避難させる計画について、現状を問う。</p> <p>(3) 避難所となる体育館の空調整備について (要旨) 2次・3次災害を防ぐための対策として、学校教育の観点からではなく、防災の観点から空調設備の導入を再度検討すべきではないか。また、感染症対策について、現状を問う。</p> <p>(4) 災害発生時における水道に関する対応について (要旨) 発災当日から断水対策を念頭に置いているのか。また、緊急で川や井戸水を使用する場面も想定されるが、その水質管理や運営について、現状を問う。</p> <p>(5) 災害廃棄物処理について (要旨) 災害発生時には、大量の災害廃棄物が発生することが予測される。どのように想定し、どのような対応を計画しているのかを問う。</p>		

発言順位	8	議員名	石井 宏法（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 明石市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>(1) 環境産業局の設置について (要旨) 環境産業局設置の合理性について問う。</p> <p>2 脱炭素化に向けた取組について</p> <p>(1) 省エネ・再エネ設備の導入促進、公用車への電気自動車及び公共施設への太陽光発電設備の導入について (要旨) 経済・社会・環境の三側面の統合性や合理性、目標に対する実効性があるのかを問う。</p>		

発言順位	9	議員名	長尾博子(公明党)
発 言 事 項	<p>1 本市における不登校児童生徒への支援体制について</p> <p>(1) 校内フリースペースでの支援について (要旨) 市内7小学校に新たに校内フリースペースを設置予定ですが、今後の支援体制についてどうお考えですか。また、未設置の小学校に対してどう対応するのか。市の見解をお聞きします。</p> <p>2 特殊詐欺に対するさらなる防止対策について</p> <p>(1) 詐欺に対する新たな防止対策について (要旨) 市として様々な詐欺防止対策を行っていますが、残念ながら被害が増加している状況です。新たな防止対策として「のぼり」を各所に設置してはいかがでしょうか。市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 自動録音機能付電話機等の購入補助について (要旨) 本市の新年度予算案に、自動録音機能付電話機等の購入補助を実施予定とありますが、十分な予算を確保しているのでしょうか。市の見解をお聞きします。</p> <p>3 源氏物語ゆかりの地である明石の観光振興の取組について</p> <p>(1) 本市の観光振興の現状について (要旨) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、国内外から観光客が増加しています。本市の観光振興の現状についてお聞きします。</p> <p>(2) 源氏物語ゆかりの地、明石の魅力を全国に発信して観光振興に取り組まないか。 (要旨) 現在、大河ドラマ「光る君へ」が放映されているが、源氏物語ゆかりの地である本市を全国に発信し、観光振興に取り組まないか。市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	10	議員名	山中裕司(市民の会)
発 言 事 項	<p>1 在宅介護の支援体制について</p> <p>(1) 本市独自の在宅療養ハンドブック作成の進捗について (要旨) 6月議会で「在宅療養に関するハンドブックの作成を検討している」との答弁を得た。その後の進捗を問う。</p> <p>(2) 家族介護者への支援について (要旨) 家族介護者の身体的・精神的な負担を軽減するために、訪問介護員等が介助方法などを教える実践的な教室を定期的に開催できないか。市の見解を問う。</p> <p>(3) 介護離職防止の取組について (要旨) 親などの介護が原因で会社や仕事を辞める「介護離職」が増加している。今後もビジネスケアラーが増える傾向にあるため、本市ホームページに「介護離職防止に向けての情報提供ページ」を追加しないか。市の見解を問う。</p> <p>2 持続可能な農業経営について</p> <p>(1) スマート農業に向けた農業環境整備の取組について (要旨) 農地の効率的な利用を推進し、生産性の高いスマート農業を確立するために、農業生産基盤環境の維持補修や整備を行えないか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 半農半X型の就農支援について (要旨) 兼業収入などを加えた「半農半X型」の就農に対して、移住から定住まで各段階において総合的な支援が行えないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 障害者向けグループホームの整備促進について</p> <p>(1) 現状に係る認識について (要旨) 市内における知的障害者向けグループホームの現状と支援区分が高い人たちの受入先について問う。</p> <p>(2) 今後の見通しと市の対応について (要旨) 施設を必要とする人は今後も増えると予想される。整備を促進するため、市として事業者を支援する必要があると考える。見解を問う。</p> <p>2 認可外保育施設における保育の質の確保と向上について</p> <p>(1) 現状に係る認識と取組について (要旨) 認可外保育施設における重大事故が他都市で発生している。市として施設に対する指導監督は十分行われているのか、認識を問う。</p> <p>(2) 不適切事案への対応について (要旨) どのように行っているのかを問う。</p> <p>3 建築行政について</p> <p>(1) 建築物の建築等に関する申請及び確認と完了検査の現状について (要旨) 建築確認件数等の推移と市の課題認識について問う。</p> <p>(2) 違反建築物等への対応について (要旨) 市の認識を問う。</p> <p>4 大久保浄化センター内のテニスコートについて</p> <p>(1) 整備された経緯について (要旨) 市の認識を問う。</p> <p>(2) この間の市の対応について (要旨) 施設を閉鎖することを決定したと聞き及んでいる。この間の対応について問う。</p> <p>(3) 今後について (要旨) 市の認識を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	中西 礼 皇（対話の会あかし）
発言事項	<p>1 広報・広聴について</p> <p>(1) 市長へのおてがみと市民提案箱の違いについて (要旨) 市長への直談判が広聴システムとして健全とは言えない。一本化すべきであると考えている。</p> <p>(2) 広報あかしの見直しについて (要旨) 普及率の改善、内容の評価、冊子化、アンケート調査の結果の分析について見解を問う。</p> <p>(3) 広報モニター制度について (要旨) 広報を市民と共につくるためにモニター制度を設けるべきであると考えている。</p> <p>2 医療政策について</p> <p>(1) 小児科誘致について (要旨) 新年度事業で提案されている小児科診療所開設助成について問う。</p> <p>(2) 往診サービスの誘致について (要旨) 民間の夜間休日往診サービスの誘致について問う。</p> <p>(3) 小児医療の課題について (要旨) 小児在宅医療や小児精神医療に対する取組が必要であると考えている。</p> <p>(4) 市民病院と県立がんセンターの連携について (要旨) 市としての方向性を問う。</p> <p>3 市民の移動手段の確保について</p> <p>(1) 民間事業者による送迎サービスへの補助について (要旨) たこバス路線の拡大を求める市民の声は多いが、ドライバー不足もあり難しい。民間のスーパーマーケットが行っている送迎サービスへ補助を行うことで拡大を目指すべきであると考えている。</p>		

発言順位	13	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発 言 事 項	<p>1 障害福祉サービスの質の向上について</p> <p>(1) 放課後等デイサービスの利用者負担額の軽減と、さらなる質の向上について</p> <p>(要旨) 障害児の放課後等デイサービスの利用者負担額について、全国では区分の細分化や一律化、無償化に取り組む自治体が増えている。誰ひとり取り残さないやさしいまちを目指す本市も所得制限撤廃や無償化を実施すべきであると考えている。</p> <p>また、関係機関と連携し、市としてさらなる質の向上にも取り組む必要があると考えている。</p> <p>(2) 福祉施設職員の人材育成について</p> <p>(要旨) 令和4年に施行された、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の趣旨に鑑み、高齢者・障害者施設職員の手話学習、資格取得に対する助成制度など、市としてサービスの質の向上につながる支援をするべきであると考えている。</p> <p>2 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>(1) 明石市ひなんサポーター研修実施について</p> <p>(要旨) 令和6年1月27日に、明石市ひなんサポーター研修が開催された。定員を超える応募があり、市民の関心も高い。自助・共助・公助がしっかり学べた内容であり、参加できなかった市民のためにも、今後も引き続き開催を検討すべきであると考えている。今後の予定について、本市の考えを聞く。</p>		

発言順位	14	議員名	寺井吉広(明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 現在の整備状況について (要旨) 現在の都市計画や建築基準、土木工学の観点から、地震や洪水などの自然災害に対する本市の準備はどうか。</p> <p>(2) 今後の整備について (要旨) 過去の災害から得られた教訓を元に、今後の都市開発やインフラ整備にどのように反映されているのか。</p> <p>(3) 避難訓練や災害対応の教育プログラムについて (要旨) 地域住民が災害に備えるための教育や訓練プログラムはどのように実施されているのか。また、その効果はどのように評価されているのか。さらに、避難支援が必要な要配慮者の個別避難計画の作成の現状と今後の見通しはどうか。</p> <p>(4) 避難場所について (要旨) 地域の避難所の整備状況や適切な位置づけ、必要な改善点についてはどうか。特に、高齢者や障害者などの特別なニーズに配慮がされているのか。また、季節に応じた防寒対策や熱中症対策はどうか。</p> <p>(5) 備蓄物資について (要旨) どのような品目が含まれているのか。十分な量が確保されているのか。また、更新や補充の仕組みはあるのか。</p> <p>(6) 防火対策について (要旨) 地域の建築基準や消防設備の整備状況はどのようになっているのか。火災予防意識の向上や火災発生時の迅速な対応を促すための取組はどうか。</p> <p>(7) 予算・人的資源について (要旨) 予算や人的資源が地域の防災対策や災害復旧支援に適切に割り当てられていると考えているのか。改善すべき点はないのか。</p>		

発言順位	15	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）について</p> <p>(1) DXの活用について (要旨) 令和7年度末までに、標準仕様書に準拠したシステムへの移行が予定されているが、DXの活用により、本市の行政や特に市民生活にどう生かしていくのか。自治体行政でのDX、地域社会におけるDXをどのように進めていくのか。 DXを進めることは、将来の行政運営において属人化の解消や業務の見直しによる効率化にもつながると考えるが、DX推進の本市のビジョンについて、見解を問う。</p> <p>(2) 市民の視点に立った行政サービスの実現について (要旨) 行政手続のオンライン化が進むことにより、市民が自ら市役所へ足を運ばなくとも申請ができ、多様な窓口の実現、マイナンバーカードの利活用なども進んでいくと思われる。現在、行政手続のオンライン化はどこまで進み、市民が利用できるサービスへとつながっているのか。現段階の進捗状況について、見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 令和6年能登半島地震の教訓から見る本市の防災体制について</p> <p>(1) 能登半島地震に対する本市の支援状況について (要旨) 令和6年1月1日午後4時10分頃、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生した。本市からも緊急消防援助隊が現地に向かったと聞いているが、能登半島地震に対する本市の支援状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 能登半島地震に対する本市の見解について (要旨) 本市から被災地に対して災害復旧・復興支援活動などを行ったことから見えてきた、能登半島地震に対する市の見解を聞く。</p> <p>(3) 能登半島地震を踏まえた本市の防災体制について (要旨) 今後30年の間に南海トラフ地震が80%の確率で起こると言われている。この度の能登半島地震を踏まえた本市の防災体制について、市の見解を聞く。</p>		
	<p>2 待機児童の解消に向けた市立幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行に伴う体制について</p> <p>(1) 市立幼稚園の全園認定こども園への移行について (要旨) 本市の待機児童の状況を踏まえ、活用が重要とされる小規模保育事業所の連携先として市立幼稚園の役割が高まっていることから、令和4年度に2園、5年度に3園をモデル園として、幼稚園型認定こども園化を進めてきた。6年度には市立幼稚園が全園認定こども園へと移行する。これまでの経緯について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 幼稚園型認定こども園への人員配置等の保育環境整備と今後の待機児童対策の実施体制について (要旨) 市立幼稚園が保護者の就労状況の変化に関わらず利用できる幼稚園型認定こども園に移行することに伴い、従来の預かり保育では就労枠でも一部有料となっていた夏休み等の長期休業中も無償となる。移行に伴う人員配置等の保育環境整備と今後の待機児童対策の実施体制について、市の見解を聞く。</p>		
	<p>3 市立学校園の給食について</p> <p>(1) 市立幼稚園・幼稚園型認定こども園の給食について (要旨) 令和2年9月より市立幼稚園の給食が実施された。また、5年11月より卵・乳アレルギーの対応も始まったが、これまでの実施状況について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	16	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発言事項	<p>(2) 市立小学校・中学校の給食について (要旨) 食材価格が高騰する中、給食の質と量の低下を招くことなく給食提供を維持すること及び新たな保護者負担の軽減を図るため、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を、6年度は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、学校給食食材の価格上昇相当分に公費助成を行うが、持続可能な小中学校の給食提供について、市の見解を聞く。</p>		
	<p>4 神戸マラソンについて</p> <p>(1) 本市域までのコース延伸案について (要旨) 令和5年12月5日に神戸市から神戸マラソンのコースを本市の大蔵海岸まで延伸する案が発表された。神戸マラソンのコース延伸案について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 神戸マラソンに対する本市の今後の取組について (要旨) 令和6年1月23日、神戸マラソン将来構想検討委員会から神戸マラソン実行委員会に「神戸マラソン将来構想に係る提言書」が手交された。その提言書の中にも、明石市域までコースを延伸して明石海峡大橋の眺望を最大限生かすことが示されている。このことは、令和7年に実現できるように進めることとしているが、今後の取組について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	17	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>1 小児科診療所開設助成事業について</p> <p>(1) 事業の詳細について (要旨) 事業の助成要件や助成対象となる経費など、事業の詳細を問う。</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて (要旨) 令和6年度中の助成金交付が想定されているが、交付までのスケジュールを問う。</p> <p>(3) 今後の展望について (要旨) 市の小児科診療所の現状を踏まえ、本事業の将来目標や拡充予定など、今後の展望を問う。</p> <p>2 終活相談支援のさらなる充実について</p> <p>(1) 市の終活相談支援の現状について (要旨) 社会の高齢化が進むにつれて、最期まで安心して自分らしく生きるための終活相談支援へのニーズが高まっている。本市の終活相談支援の現状と今後の取組を問う。</p> <p>(2) 市民への終活に対する意識啓発について (要旨) 市民が自分の将来の準備を考えるきっかけづくりとして終活への意識啓発が必要と考える。市だけでなく、民間団体とも連携して意識啓発に取り組んではどうか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>1 こども基本法に基づいたこども施策の実施について</p> <p>(1) 第3期明石市子ども・子育て支援事業計画に、こども・若者の声をどう反映するのか。 (要旨) こども基本法施行後、初めての計画となり、こどもが大人になるまで切れ目なく支援が受けられるような計画が求められる。これまで計画に入っていなかった10歳以上のこども・その保護者・若者の声をどう計画に反映していくのか。見解を問う。</p> <p>(2) こどもの人権を守るオンブズパーソンを設置しないか。 (要旨) いじめ・差別・体罰・虐待などで苦しんでいるこどもたちを助ける公的な第三者機関としてオンブズパーソンを設置し、こどもにとって一番よい解決方法をこどもと一緒に考え、手助けできるようにしないか。見解を問う。</p> <p>(3) こども会議、ユース会議を定期的を開催しないか。 (要旨) こども会議、ユース会議を開催し、こども・若者の声を拾い上げ、施策に生かしていく仕組みづくりをしないか。また、ユース会議の場として、中高生世代交流施設AKASHIユーススペースを活用してはどうか。見解を問う。</p> <p>(4) 当事者会の立ち上げや活動を支援しないか。 (要旨) アレルギー、発達障害、不登校、特別支援などの悩みを抱えるこども同士・親同士がつながり、情報共有や共感し合える場が孤独や孤立を生まないためにも必要だと考える。つながり合えるきっかけづくりや、その後の活動を支援することはできないのか。見解を問う。</p> <p>2 サポーター等養成講座修了者の活躍推進について</p> <p>(1) ゲートキーパーの活躍につながる支援をしないか。 (要旨) 悩んでいる人に「気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る」ゲートキーパーについて、ゲートキーパー同士や居場所運営者との交流の機会をつくる等、活躍につなげるための支援はできないのか。見解を問う。</p> <p>(2) ひきこもりサポーターの活躍につながる支援をしないか。 (要旨) 県主催のサポーター養成研修受講者が明石市で活躍できるよう、県と連携し、受講者と居場所づくり等支援者とがつながり合える機会をつくってはどうか。見解を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>(3) ひなんサポーター養成から個別避難計画の支援者養成につなげる仕組みをつくらないか。 (要旨) ひなんサポーター養成講座の受講者を増やし理解を広げると同時に、災害時避難行動要支援者の支援者になってもらえるよう段階的にランクアップする講座を準備してはどうか。見解を問う。</p> <p>(4) 更生支援サポーターを養成し、更生支援の担い手発掘につながるような講座を開催しないか。 (要旨) 以前に開催していた更生支援サポーター講座を復活させてはどうか。また、保護司会や更生保護女性会などと共同開催し、実際に更生支援につなげていけるようなきっかけをつくってはどうか。見解を問う。</p> <p>3 市民が使いやすい公共施設の在り方について</p> <p>(1) 市民が利用できる公共施設の「総合予約システム」を導入しないか。 (要旨) 公共施設の予約に係る一連のプロセスをオンライン化し、利便性の向上を図らないか。その際、オンラインの活用が難しい方のために、窓口でも分かりやすい対応をしてはどうか。</p>		

発言順位	19	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>1 学校給食について</p> <p>(1) 学校給食における有機食材の活用について (要旨) 新年度の主な取組に、学校給食における地産地消の推進と有機食材の活用が新規事業として予定されている。有機食材を使った給食については、昨年度と今年度に試行されたが、実施結果と新年度の取組について問う。</p> <p>(2) 米飯給食の推進について (要旨) 地産地消の推進、アレルギーなどの観点からも、米飯給食の回数を増やさないか。見解を問う。</p> <p>(3) 生ごみ処理機の導入について (要旨) 新年度の主な取組に、ごみの減量・再資源化の推進（ゼロ・ウェイストあかしの取組）として、給食の調理くずや食べ残しを処理する生ごみ処理機の導入が予定されている。SDGsの観点からも必要な施策と考えるが、今後の取組について問う。</p> <p>2 姉妹都市交流事業について</p> <p>(1) これまでと今後の取組について (要旨) 本市はアメリカ合衆国バレホ市と姉妹都市である。コロナ禍以前、以後の交流事業について、また、今後の取組について問う。</p> <p>(2) 高校生など若者の姉妹都市交流の促進について (要旨) 異なる視点や価値観の多様性を知り、自国の文化・故郷を知るまたとない機会となる。市の見解を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 障害のある児童生徒への通学支援サービスについて</p> <p>(1) 福祉としての通学支援サービスについて (要旨) 一人で登校するには困難であるが、保護者の体調や就労等で毎日付き添うことが難しい場合の現状の対応について問う。</p> <p>(2) ファミリーサポートセンターの送迎サービスに対する認識について (要旨) 現時点での通学支援としてのファミリーサポートセンターの利用頻度を問う。また、利用しやすい環境であるのか、現状を問う。</p> <p>2 本市のDXの取組について</p> <p>(1) 本市のDXの現状について (要旨) 令和4年度からデジタル推進課として本市のDXの取組を実行されているが、現時点での取組成果について問う。</p> <p>(2) 本市のDXの今後の予定について (要旨) 2年前に策定されたロードマップは、予定どおり進んでいるのか。また、ChatGPTなど技術の目覚ましい進歩があるなかで、現行の計画のままでよいのかを問う。</p> <p>(3) LINEオープンチャットの活用について (要旨) 公式LINEもホームページも一方通行なシステムだが、オープンチャットは双方向のコミュニケーションツールである。よって、お互いの意見を交換でき、かつ、行政側から参加を求める呼びかけを行う場合、時間的な制約などもなくなるとともに、もともと興味のある方が登録していることから参加率の向上も見込める。本市の見解を問う。</p> <p>3 防犯カメラの増設及び市民・事業者に対する設備補助について</p> <p>(1) 防犯カメラの増設について (要旨) 加古川市では平成29年から設置を進め、既に1,625台の防犯カメラがある。本市は現時点で何台あるのか。そして、現在の台数で足りるのか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>(2) 設備補助の妥当性について (要旨) 新年度の主な取組として挙げられている家庭用生ごみ処理機の助成100人、事業者向け太陽光発電設備3件、普通充電設備5件など、この数値目標で成果があったというデータがとれるのか疑問である。目標や計画があつてのこの数値設定なのか。税金を投入する以上、設備を導入することによってどれくらいの効果があるのかというデータを集めるために助成するなどの名目が必要ではないか。それらの計画をもって新年度予算を編成されたのか、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p>1 旧明石市立図書館について</p> <p>(1) 県立図書館と併置の経緯と継続使用について (要旨) 旧明石市立図書館は、昭和49年10月1日に開館し本年で50年となる。県立図書館と併置し、外観は全く同型で県市一体の建造物である。県は50年以上前の明石市からの念書と、県立図書館設置の経緯を尊重して明石市の占有の継続を受け入れていると聞く。経緯を確認するとともに、県と除却以外の再検討の協議をすべきと考える。見解を問う。</p> <p>(2) 除却・新築と耐震補強との経費の比較について (要旨) 県立図書館は耐震補強工事と外壁補修工事を行い、新築時の景観や空間を保ちながら継続使用している。全く同じ仕様の市立図書館であるが、除却・新築と耐震補強との経費の比較を問う。</p> <p>(3) 明石市市民参画条例との整合性について (要旨) 最初に除却ありきで新たな公共施設建設計画を発表したが、保存か除却かの選択から市民の声を聴くべきである。同条例第6条第2項第4号で市民参画手続の実施を義務づけているが、除却ありきの計画は条例に反しているのではないか。見解を問う。</p> <p>(4) SDGs 未来安心都市・明石の観点について (要旨) 令和2年7月17日に国から県内初となるSDGs 未来都市に選定された。17の目標には持続可能なインフラ整備とある。表題の達成を目指す本市の本気度を問う。</p> <p>2 おたふくかぜワクチン接種の充実について</p> <p>(1) おたふくかぜの後遺症の認識について (要旨) おたふくかぜは、ムンプスウイルスを原因とする全身性感染症であり感染力は強い。発症すると耳下腺炎、顎下腺炎、無菌性髄膜炎、難聴などの重大な合併症を引き起こすことがある。4～5年周期で流行を繰り返す。本市における実態の認識を問う。</p> <p>(2) 本市のワクチン接種の公費助成について (要旨) 本市も公費助成は行っているが、0歳児から3歳児までとし、また、インフルエンザワクチンとの選択制としている。 小児科学会が推奨している1歳で1回目接種、就学前に2回目接種にすることと、おたふくかぜワクチン接種の単独公費助成を行うべきである。見解を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p>1 災害時の障害のある方への支援について</p> <p>(1) 個別避難計画について (要旨) 避難することが困難な高齢者や障害者を対象として、地域住民に協力いただき個別避難計画を作成していると聞いている。現在の状況について、お答えください。</p> <p>(2) 福祉避難所について (要旨) 高齢者や障害者等支援を必要とする方が過ごすための福祉避難所について、本市では23か所が指定されているが、本市の障害者数から考えて必要数の確保ができているのか。また、地震により被害を受け、施設の使用ができなくなった場合、代替施設について計画しているのか、お答えください。</p> <p>2 福祉人材育成とサービスの質の向上について</p> <p>(1) 福祉サービスの質の向上に向けた取組について (要旨) 障害福祉サービス事業所においては、就労移行支援、就労継続支援のA型/B型、生活介護、放課後等デイサービスなど、多様な事業所が開設され、その数も増えてきている。しかし、各事業所が提供するサービスの質に差が生じているという課題がある。また、介護サービス事業所においても、とりわけ訪問介護事業所における人材確保が厳しい状況であるという課題がある。市内ヘルパーは、高齢化が深刻であり、若手のなり手が少なくなっていると聞いている。そのような状況の中、国の訪問介護の基本報酬が減額になるとの話があり、より一層厳しい状況になることが予想される。</p> <p>利用者に不利益が生じないよう事業所における人材の確保や提供するサービスの質の向上に関し、市が支援していく必要があると考えるが、市としてどのような取組を行っていくのか、お答えください。</p>		

発言順位	22	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p>(2) 支援助成金の対象範囲の拡充について (要旨) 多くの事業所が開設されているなか、それぞれの事業所がサービスの質をより向上させるため、介護・障害福祉分野資格取得支援助成金の対象範囲を広げることにはできないか。資格取得の助成対象の範囲が、高齢者、障害の事業所に限定されているので、市内で働く教育職にまで広げられないか。</p> <p>本市はインクルーシブなまちづくりを促進している。福祉、教育、どの現場にも質の高い専門知識を持つ人材が必要であり、例えば、特別支援教育の専門家の特別支援教育士、知的障害者援助専門員養成通信教育、知的障害を理解するための基礎講座などの資格取得の支援を行えないか。また、施設、事業所において実施する職員向けの虐待防止、支援力向上に向けた集団研修への助成を行い、施設、事業所の質の向上につなげられないか、お答えください。</p>		

発言順位	23	議員名	三好 宏 (自由民主党明石)
発言事項	<p>1 歯と口腔の健康推進条例について</p> <p>(1) 歯と口腔の健康推進条例について (要旨) 同条例については、令和2年に当時の担当部局に条例制定の提案を行ったが、ユニバーサル歯科診療所が完成した後に、その意見も取り入れて制定した方がより実効性のある条例に仕上がることから見合わせた経緯がある。</p> <p>現在、47都道府県のうち45府県が制定しており、全国242の市町村が制定済みである。兵庫県は、平成23年に健康づくり推進条例を制定し、令和4年に条例改正も行っている。また、神戸市も平成28年11月に制定済みである。条例制定に向けた市の認識を問う。</p> <p>2 新年度の主な取組について</p> <p>(1) ため池カルテの作成による地域資源の保全と活用について (要旨) ため池とは、農業用水を確保するために水を貯え、必要な時に耕作地へ送水し、季節ごとの降水量の変化や気象変動による影響を抑え、農作物を安定して栽培することを目的とした池である。</p> <p>近年、農業者も減り、農地も減少していることもあり、需要と供給のバランスを明らかにするためにも、カルテを作成することにはメリットがあると考え。ただ、台風や大雨時には治水という利点はあるものの、堤防が決壊し、被害が拡大するリスクや農業者の高齢化もあり、地域で管理することが難しくなっていることに加え、17号池魚住みんな公園の整備の例も踏まえ、地域の実情に合った利活用計画が必要である。また、ため池ではないが、水源転換が予定されている貯水池である野々池の利活用に対する市の考えも併せて聞く。</p> <p>(2) シティセールス（明石の魅力発信）の取組について (要旨) 令和7年に大阪・関西万博が開催され、その後には大阪のIR誘致も進んでいることから、多くのインバウンド観光客が明石を訪れることが予想される。そんな状況下において、東播磨3市2町の連携は言うまでもなく、本市独自のインバウンド観光戦略を練る必要がある。例えば、インバウンドに対するマップ、通訳等のボランティアガイド、サイン表示、そして、かつて導入するチャンスがあった個別店舗へのキャッシュレス決済端末など、地元商店への経済効果の誘導が最重要課題だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	24	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p>1 朝霧駅周辺のアクセス・景観向上について</p> <p>(1) 朝霧駅の一般車ロータリーにおける停車台数をさらに確保できるよう検討しないか。</p> <p>(要旨) ロータリー内の停車台数が限られることから、朝夕の送迎ピーク時に駅周辺の道路における駐停車が目立ち、安全面が懸念される。一般車ロータリーの中央スペースを有効活用し、停車台数を確保することで、市民に安全と利便性を提供しないか、見解を問う。</p> <p>(2) 歩道橋の壁面素材を透明なパネルに更新しないか。</p> <p>(要旨) 経年劣化により、アクリル板の黄ばみが顕著になっている。透明なパネルに替えることで、本市における東の玄関口として、明石海峡大橋や淡路島、夕焼けといった景観を楽しんでもらい、海のまちとしてのにぎわい創出につなげないか、見解を問う。</p> <p>(3) 歩道橋エレベーターの稼働時間を24時間化しないか。</p> <p>(要旨) 現在、22時から5時までが休止時間となり、車椅子や自転車利用者などは一定の不自由さを有する。明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画において、朝霧駅周辺の地区目標として、駅から大蔵海岸公園までのバリアフリー化による、誰もが安心して楽しめるユニバーサルデザインのウォーターフロントの形成を掲げる本市として、稼働時間の24時間化を通じて、すべての人にやさしいまちづくりをしないか、見解を問う。</p> <p>2 さらに「市民の声」に耳を傾けたまちづくりについて</p> <p>(1) タウンミーティングを通じて、パブリックコメントを募集する工夫をしないか。</p> <p>(要旨) 案件によっては、パブリックコメントが十件未満にとどまる現状がある。市民の声を聞き、市民とつながることを掲げる丸谷市政を進める上で、毎月開催のタウンミーティングを活用してパブリックコメントを一件でも多く募る工夫をすることは有意義だと考えるが、見解を問う。</p>		

発言順位	25	議員名	榎本 和夫（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p>1 明石市の産業振興政策について</p> <p>(1) 産業振興に対する本市の考え方について (要旨) 本市の主要施策の中での優先度を問う。</p> <p>(2) 環境産業局新設の目的について (要旨) 新設の目的は。既存に対する優位性があるのか。</p> <p>(3) 令和6年度の新たな施策、取組について (要旨) 局を新設してまでやりたい新たな施策があるのか。</p> <p>2 旧明石市立図書館について</p> <p>(1) 令和5年9月議会以降の動きについて (要旨) 9月議会でスケジュール案について言及があったが、その後の進捗を問う。</p> <p>(2) 兵庫県とのその後の協議について (要旨) 県との協議が必要不可欠だと考える。</p> <p>(3) 毎年度計上されている維持管理費について (要旨) 維持管理費が生涯学習センター運営事業から拠出されているが、妥当かどうかを問う。</p> <p>(4) 今後の方向性の判断について (要旨) 方向性を決定すべき時期ではないかと考える。</p>		